



新緑が美しい季節になりました。朝の学校へ向かう途中では、りんごの花や菜の花が咲き誇り、ツバメも元気な姿を見せています。ツバメは、春になると日本へやってくる渡り鳥です。「今年もこの時期がやってきた」と思いながら、空を見上げています。「この時期・・・」と言えば、高等部では、「産業現場等における実習」の季節です。6月に行われる前期産業現場等における実習を控えた今日は、「産業現場等における実習」についてご紹介します。



産業現場等における実習



産業現場等における実習（以下実習）は、日々の学校生活（作業学習や毎日の学習）で学んだことを基礎に、地域の職場等で実際に働くことによって、自分の適性や課題を知るために行われる学習です。

実習では、学校以外の場所で実際に働く体験をすることができ、実習先での仕事や働き方が、自分に合っているのか、これまで学校で「できる」と思っていたことが、社会の中でもできるのかを確認することができます。また、働いている人から、「働くことのやりがいや大変さ」などについて、話を聞くことができる貴重な機会でもあります。決して、就職活動として実習を行うわけではありませんが、高等部3年生にとっては、実習を通して、見聞きし、体験したことを参考にして、自分の進路を考えることができます。卒業後の進路について考える大切な機会でもあります。



実習は、「勤労の意義について理解するとともに、職業生活に必要な能力を高めて実践的な態度を育てる」ことを目的に行われます。

生徒たちに「なぜ働くのか？」と質問すると、「お金を稼ぐため」「生活するため」という答えが返ってきます。「お金を稼いで、生活するためだけなの？」とさらに質問をすると、「税金を納める」などの答えが返ってきます。働くということは、お金を稼ぐ（経済性）だけではなく、社会的な役割を果たし社会の存続・発展に貢献する（社会性）ことや、能力や個性を発揮して自己実現をなす（個人性）という意義があります。実習だけで、社会性や個人性について考えることは難しいかもしれませんが、誰かの役に立てたという

満足感（社会性）や、働くことで得られる充実感や達成感（個人性）を感じてほしいと願っています。

実習では、実習先によって取り組む内容は様々です。2週間の実習中に、実際的な職業生活を経験することで、働くための態度やマナー、体力や集中力、持続力などについて何かを感じてきてほしいと思っています。



今年度の前期実習は、6月2日（月）～13日（金）までの10日間行われます。

1年生は、つがる地球村での環境整備や校内での清掃活動やフルーツネット返しなど集団での実習です。徒歩でつがる地球村まで行き、午前中いっぱい草取り等の作業に取り組みます。1年生にとっては、初めての実習です。この実習では、「長時間の作業に取り組むことを通して、働くための体力や意識を高める」「自分の役割を理解し、仕事を最後までやり遂げる態度を養う」「身だしなみを整え、集団行動のルールや公共のマナーを守る態度を養う」ことをねらいとしています。働くこと（勤労の意義）を理解するとともに、働くために必要な体力や集中力をしっかりと身に付けてほしいと思います。



2年生は、初めての個別実習となります。どの生徒も、「知らない(慣れない)実習先」で、担当者からの指示を聞いて、作業に取り組むこととなります。慣れない場所、慣れない相手とのやりとりで不安と緊張でいっぱいになり、体力だけではなく精神的にも鍛えられる2週間となります。先日より、それぞれの実習先を訪問しての打合せも始まりました。実習期間中の担当者の方を確認し、作業内容や準備物、また、実習期間中の注意点など、教えてもらったことをメモして事前学習や実習に向けて準備を進めています。公共交通機関を使って通勤をする生徒もいるため、実習までの休日を利用して、保護者の方と練習も行います(実習先へは、保護者の送迎もしくは自力での通勤となります)。2年生は、これまで学校で学んできたことを、学校外でも発揮できるかチャレンジし、実際に仕事を体験し、自分のやってみたい仕事、自分に合った働き方を見つけてほしいと願っています。



3年生は、自分の進路を見据えての実習です。生徒の中には、2年生のときと同じ実習先で再度実習し、本当に自分に合っているのか、そこで長く働けるのかを確認する人、選択肢を増やすために、これまでとは違う実習先を選ぶ人とそれぞれです。3年生の実習では、卒業後の働き方を確認することが大切です。「働く生活」になったときに、何時に帰ってくるのか、帰ってからどんな生活をするのか、保護者のみなさまにもこの期間に卒業後の生活をイメージしてほしいと思います。

Q&A よくある質問

Q:(実習先の事業所では)送迎はありますか?

A:送迎車のある事業所もありますが、実習中は利用契約をしていないので、生徒たちは送迎車を利用せずに、保護者送迎もしくは公共交通機関や自転車等を利用しての自力通勤となります。(送迎車利用時に事故等があった際に事業所の送迎自動車保険の対象なりません。)



Q:実習中の昼食はどうなりますか?



A:実習先で食事の提供がある場合は、実習先の給食等を食べることができます。食事料金は事業所によって異なります。実習最終日に現金での支払いをお願いします(一部例外あり)。

Q:実習中は放課後等デイサービスを利用してもいいですか?

A:大丈夫です!学校の授業の一環なので、放課後等デイサービスの利用は問題ありません。ただし、3年生で将来B型の事業所を利用しようと考えている場合は、卒業後の生活を具体的にイメージできるよう、放課後等デイサービスを利用せずに実習先からまっすぐ帰る経験しておくことをオススメします。

Q:実習の時間は何時から何時までですか?

A:基本的に9:00~15:00程度を予定していますが、実習先によって若干早くなったり、遅くなったりすることがあります。また、**木曜日**も**早い下校とまらない日程**での実習となります。放課後等デイサービス等の送迎をお願いしている場合は、あらかじめ事業所へ連絡をお願いします。



Q:公共交通機関で通勤するときに、先生と一緒に乗ってくれますか?

A:通勤の練習は、ご家庭でお願いします。「一人で、安全に気をつけて通勤できる状態」を確認してください。必要に応じて実習初日に、教員が通勤の状況を確認することもあります。一緒に通勤はしません(実習の巡回指導があり、一緒に通勤をすることは難しいです)。

高等部の生徒たちにとっては、「働き続ける」2週間です。家庭での生活リズムの管理や励ましの言葉掛け、送迎等の様々な面で、保護者のみなさまのご協力が成功の鍵となります!高等部の保護者のみなさま、2週間、ご協力よろしくお願ひいたします。また、小学部、中学部の保護者のみなさま方からも生徒たちにエールをいただければ、頑張るパワーになると思います。どうぞよろしくお願ひいたします。